

郷土摂津

第67号

平成15年11月1日

いにしえ通信

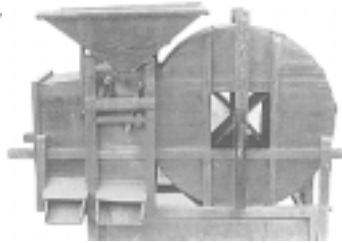
発行 摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566 - 8555 摂津市三島一丁目1 - 1

(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>

中国の唐箕「風扇車」
「天工開物（1637）」
に見られる唐箕。中
国起源は一目瞭然。



唐箕 本体幅 177 cm、奥行 74 cm、高
さ 129 cm。回転軸の主柱に「河内国茨
田郡木」と墨書が見られます。4本
脚で主柱に回転軸がつき、取り出し口
が2つとも前面に並ぶ典型的な「京屋
型唐箕」。

農具 春夏秋冬 第8回 から見た 唐箕

唐箕（とうみ）は手回しの風車でもみと米
とを風でより分ける農具です。日本では『会
津農書（1684）』に「ぬかを取るに（中略）今
とうみを仕ふはまれに有」と見えるのが最古
の記録で、17世紀後半から普及しはじめたよ
うです。元禄時代（17世紀末～18世紀初）の
大坂では、天神橋、天満橋、農人橋の辺りに
農具商の店があつて近郊農民の需用に应运
ていました。なかでも農人橋の京屋は明治・大正
の頃まで主力メーカーとして続いていま
した。この京屋の弟子が独立して各地で地方メ
ーカーとなっていきました。

11月のふるさと摂津講座

摂津と悪党(パート2)
正雀の歴史

講師 ふるさと摂津案内人
神谷令美氏・清水禎子氏
とき 平成15年11月19日(水)
午後2時～4時
ところ 総合福祉会館・第1会議室
入場料 無料
定員 60名

講座は申し込み不要です。当日直接
会場へご来場ください。

摂津市民図書館文化講演会 北摂の古代史

～最近の発掘調査から～

講師 高槻市立埋蔵文化財センター
所長 森田克行氏
とき 平成15年11月22日(土)
午後2時～3時30分
ところ 摂津市民図書館大会議室
入場料 無料
定員 先着30人(申し込み・電話可)
〒566 - 0023 摂津市正雀4丁目9 - 25
摂津市民図書館 06(6319)0577

石碑・顕彰札の紹介

摂津市域の歴史をたずねて

【所在地】摂津市鳥飼野々3丁目28番地先
農地を悪水から守る治水事業「三ツ樋」 【設置年度】平成8年度改修

昔から鳥飼地帯は大雨になると淀川右岸低湿地の悪水を集中的に受けてきました。大雨ごとに一帯は湖のようになり、村人たちは農地を悪水から守るための井路に使われた土地に対する賃借料（越石米）の負担などたいへんな苦勞を重ねてきました。この悪水を排除するための治水事業は、慶安4年（1651）に始まり、大正11年に「三ツ樋」の改築、昭和2年に悪水路の改修が行われてこの事業は一応の解決がみられました。三ツ樋はこれら悪水の排水路の総称で、その悪水路とは 字実正～六反田～三ツ樋、八町井路～枝切～三ツ樋、猿子田～三ツ樋、五久～野々～三ツ樋、西字溝之口～八防樋の5つです。ここから集まってきた悪水を樋の長さ15間（約27m）敷幅4尺（約1.4m）高さ4尺5寸の樋門4ヶ所から放水し、別府、岸辺を経て神崎川に流していました。それでもなお、悪水排除が不完全で、大型水車4台を人力で動かすなどの苦勞があったようです。なお悪水とは灌漑の後の不用水のことです。



第31回 埋もれた摂津市の歴史

摂津市から須恵器が出土（3）



横瓶

丸底壺

摂津市域では、吹田市岸部地区に近接する味舌地区を中心として、須恵器が採集されています。昭和8年、旧味舌村大字庄屋（現在の庄屋1丁目）の共有水池であった「明和池」の底土を1.3m掘り下げ、この土で隣接する牛屋池を埋め立てる工事中に雑多な土器とともに須恵器が採集されました。発掘調査によるものでなく詳しくは分かりませんが、南北に走る約1mほどの幅をもった帯状の砂層から発見されたようです。完形品としては横瓶（よこへい）、丸底壺、坏（つき）身・蓋が現在でも味舌天満宮に保管されています。